

東京メトロ全路線全駅のホームドア設置計画を決定しました

2025年度までに全179駅への整備を目指します

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：山村 明義）では、すべてのお客様に安心してご利用いただけるよう、ホームでの安全対策（転落事故、接触事故の防止等）として、全駅へのホームドア設置を進めていますが、この度、東西線の優先設置駅以外の設置計画が決定し、東京メトロ全路線全駅のホームドア設置計画を確定しましたので、お知らせいたします。

本計画では、2024年度までに1日10万人以上のお客様がご利用になる駅への整備を完了させ、2025年度までに全駅にホームドアを整備することを目指します。

各駅の設置開始日や使用開始日等につきましては、各駅にポスターを掲出してお知らせいたします。

東京メトロでは、引き続き一日も早くホームドアを設置できるように努めてまいります。詳細は別紙をご参照ください。



ホームドア設置後のホームの状況（浅草駅）

◆各路線ホームドア設置計画

路線名	設置計画(太字下線部：今回更新した路線・内容)
銀座線	工事開始年度：着手済 整備完了年度：2018年度上期 ※大規模改良工事を行っている渋谷駅・新橋駅渋谷方面ホームは工事終了時に整備予定 ※浅草駅、上野駅(渋谷方面)は整備済 ホームドアの仕様：透過型ハーフハイトタイプ
日比谷線	工事開始年度：2020年度 整備完了年度：2022年度 ホームドアの仕様：透過型ハーフハイトタイプ
東西線	工事開始年度：2017年度 整備完了年度： <u>2025年度</u> （これまでの計画は未定） ホームドアの仕様：透過型ハーフハイトタイプ（ドアサイズは通常及び大開口）
千代田線	工事開始年度：2018年度 整備完了年度： <u>2019年度</u> （これまでの計画は2020年度） ※北綾瀬駅、綾瀬駅0番線は整備済 ホームドアの仕様：透過型ハーフハイトタイプ
半蔵門線	工事開始年度：2017年度 整備完了年度：2023年度 ホームドアの仕様：透過型ハーフハイトタイプ（ドアサイズは通常及び大開口）

※大規模改良工事等により、整備完了年度を変更することがあります。

※丸ノ内線、有楽町線、南北線、副都心線は全駅整備済です。

◆今後の整備率推移（予定）

	2017年度末	2020年夏	2020年度末	2024年度末	2025年度末
全駅ベース (179駅)	55% (98駅)	77% (138駅)	83% (148駅)	98% (176駅)	100% (179駅)
10万人以上の 駅ベース (81駅)	47% (38駅)	77% (62駅)	86% (70駅)	100% (81駅)	100% (81駅)